

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-508610 (P2005-508610A)

【公表日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-014

【出願番号】特願 2002-592486 (P2002-592486)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/12 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/39 (2006.01)**

**A 6 1 P 31/14 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/14

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

R N A 分子が：

- a) R N A ウイルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；
- b) ウイルスの複製に必要なウイルスの非エンコード R N A 配列；及び
- (c) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなる、R N A ウイルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 2】

R N A 分子が：

- (a) R N A ウイルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；
- (b) ウイルスの複製に必要なウイルスの非エンコード R N A 配列；及び
- (c) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなり、
- a) の R N A 配列及び / 若しくは b) のウイルスの非エンコード R N A 配列が、変異した、又は、切断された形態である
- R N A ウイルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 3】

R N A ウイルスが、カルジオウイルス又はアフトウイルス属である  
請求項 1 又は 2 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 4】

R N A ウイルスが、メンゴウイルスである  
請求項 3 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 5】

さらに、メンゴウイルス V P 2 遺伝子のシス作用複製エレメント (C R E) からなる

請求項 4 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 6】

さらに、サイラーウイルス V P 2 遺伝子のシス作用複製エレメント ( C R E ) からなる請求項 4 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 7】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される

請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 8】

レポータータンパク質が、緑色蛍光タンパク質である

請求項 7 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 9】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素である

請求項 7 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 10】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 11】

少なくとも一つの請求項 1 ~ 7 及び 9 ~ 10 のいずれか一つに記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子、並びに、医薬上受容な担体からなるワクチン。

【請求項 12】

自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子が、裸の R N A である請求項 11 記載のワクチン。

【請求項 13】

自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子が、包膜されている請求項 11 記載のワクチン。

【請求項 14】

医薬上受容な担体が、水、石油、動物油、植物油、ピーナッツオイル、大豆油、鉱油、ごま油、食塩水、水溶性デキストロース、グリセロール溶液、ポリカチオン性粒子、タンパク質粒子、プロタミン粒子、リポソーム及び金粒子から選択される請求項 11 ~ 13 のいずれか一つに記載のワクチン。

【請求項 15】

R N A 分子が：

- ( a ) R N A ウイルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；
- ( b ) ウイルスの複製に必要なウイルスの非エンコード R N A 配列；及び
- ( c ) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなる R N A ウイルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子をエンコードする D N A 分子。

【請求項 16】

R N A 分子が：

- ( a ) R N A ウイルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；
- ( b ) ウイルスの複製に必要なウイルスの非エンコード R N A 配列；及び
- ( c ) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなり、

a ) の R N A 配列及び / 若しくは b ) のウイルスの非エンコード R N A 配列が、変異した、又は、切断された形態である

R N A ウイルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子をエンコードする D N A 分子。

【請求項 17】

R N A ウイルスが、カルジオウイルス又はアフトウイルス属である請求項 15 又は 16 記載の D N A 分子。

## 【請求項 18】

RNAウイルスが、メンゴウイルスである請求項 17記載のDNA分子。

## 【請求項 19】

さらに、メンゴウイルスVP2遺伝子のシス作用複製エレメント(CRE)からなるRNAをエンコードする

請求項 18記載のDNA分子。

## 【請求項 20】

さらに、サイラーウイルスVP2遺伝子のシス作用複製エレメント(CRE)からなるRNAをエンコードする

請求項 18記載のDNA分子。

## 【請求項 21】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される

請求項 15 ~ 20のいずれか一つに記載のDNA分子。

## 【請求項 22】

レポータータンパク質が、緑色蛍光タンパク質である

請求項 21記載のDNA分子。

## 【請求項 23】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素である

請求項 21記載のDNA分子。

## 【請求項 24】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである

請求項 21記載のDNA分子。

## 【請求項 25】

さらに、適切なクローニングベクターからなる

請求項 21記載のDNA分子。

## 【請求項 26】

SEQ. ID. NO. 26 (受理番号 I - 2668 にて、2001年5月21日に CN CM、Institut Pasteur、28 rue du Docteur Roux、75724 Paris Cedex 15、France に寄託) 又はそのフラグメントの配列、及び、発現しうる形態での異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードするDNA配列

からなるDNA分子。

## 【請求項 27】

SEQ. ID. NO. 26 (受理番号 I - 2668 にて、2001年5月21日に CN CM、Institut Pasteur、28 rue du Docteur Roux、75724 Paris Cedex 15、France に寄託) の変異した若しくは切断された形態又はそのフラグメントの配列、及び、発現しうる形態での異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードするDNA配列

からなるDNA分子。

## 【請求項 28】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される

請求項 26 又は 27 記載のDNA分子。

## 【請求項 29】

レポータータンパク質が、緑色蛍光タンパク質である

請求項 28 記載のDNA分子。

## 【請求項 30】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素

である

請求項 2 8 記載の D N A 分子。

【請求項 3 1】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである  
請求項 2 6 又は 2 7 記載の D N A 分子。

【請求項 3 2】

S E Q . I D . N O . 2 7 ( 受理番号 I - 2 6 6 9 にて、2 0 0 1 年 5 月 2 1 日に C N  
C M、I n s t i t u t P a s t e u r、2 8 r u e d u D o c t e u r R o  
u x、7 5 7 2 4 P a r i s C e d e x 1 5、F r a n c e に寄託) 又はそのフラ  
グメントの配列、及び、異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコード  
する D N A 配列  
からなる D N A 分子。

【請求項 3 3】

S E Q . I D . N O . 2 7 ( 受理番号 I - 2 6 6 9 にて、2 0 0 1 年 5 月 2 1 日に C N  
C M、I n s t i t u t P a s t e u r、2 8 r u e d u D o c t e u r R o  
u x、7 5 7 2 4 P a r i s C e d e x 1 5、F r a n c e に寄託) の変異した若  
しくは切断された形態又はそのフラグメントの配列、及び、発現しうる形態での異種タン  
パク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする D N A 配列  
からなる D N A 分子。

【請求項 3 4】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質  
、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される  
請求項 3 2 又は 3 3 記載の D N A 分子。

【請求項 3 5】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素  
である  
請求項 3 4 記載の D N A 分子。

【請求項 3 6】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである  
請求項 3 2 又は 3 3 記載の D N A 分子。

【請求項 3 7】

少なくとも一つの請求項 1 5 ~ 3 6 のいずれか一つに記載の D N A 分子、及び医薬上受  
容な担体からなるワクチン。

【請求項 3 8】

D N A 分子が、裸の D N A である  
請求項 3 7 記載の ワクチン。

【請求項 3 9】

D N A 分子が、包膜されている  
請求項 3 7 記載の ワクチン。

【請求項 4 0】

受容な媒体中における、少なくとも、請求項 1 5 ~ 3 6 に記載の D N A 分子又は請求項  
1 ~ 7 及び 9 ~ 1 0 に記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子  
からなる 治療のための組成物。

【請求項 4 1】

受容な媒体中における、少なくとも、請求項 1 5 ~ 3 6 に記載の D N A 分子又は請求項  
1 ~ 7 及び 9 ~ 1 0 に記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子  
からなる 治療のためのキット。

【請求項 4 2】

S E Q . I D . N O . 2 8 ( 受理番号 I - 2 8 7 9 にて、2 0 0 2 年 5 月 1 6 日に C N  
C M、I n s t i t u t P a s t e u r、2 8 r u e d u D o c t e u r R o

ux、75724 Paris Cedex 15、France に寄託) の配列  
からなる請求項 26 記載の DNA 分子。

【請求項 43】

前記異種タンパク質のエピトープが、リンパ球性脈絡髄膜炎核タンパク質の NP 118  
- 126 エピトープである  
請求項 31 又は 36 記載の DNA 分子。